

「 鎌倉あるこ。(仮想) 」
Web サイトプラン

サイト概要

- 近年大河ドラマやアニメなど鎌倉を舞台にした作品が多く公開されている。鎌倉は天然の要塞となっており、小さな山に囲まれていることはあまり知られてない。歴史スポットは各地に点在しているので、徒歩での移動が不可欠である。そんな鎌倉の歴史スポットを紹介しながら、効率の良いルート紹介とスポットの見どころを写真とマップを使ってわかりやすく紹介する。

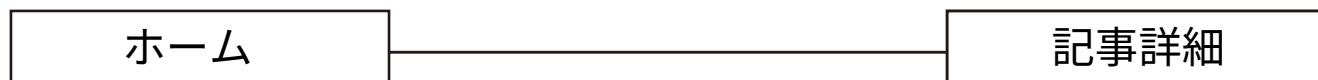
ターゲット

- 歴史が好き、鎌倉を題材にした作品の聖地巡礼目的の老若男女。
- 運動不足を感じている方。ハイキングが好きな方。
- 古都鎌倉を効率よく移動したい観光客。

コンセプト

- 紹介するルートにはまず概要のルートを表示して、その後に全体の移動ルートを示す。
- どのくらいの時間がかかるのかを表示する。サブトピックとして、各スポットの見どころと歴史的な由来を解説する。鎌倉の自然、やぐら、寺社仏閣の写真を配置する。
- サイトイメージは、鎌倉武士・武者・武骨、鎌倉の切通し（岩）と歴史の重厚感、木、自然と海のイメージをもたせる。
- 配色は渋い和の色と鎌倉の海を表現する青系の色とする。

サイトマップ



- サイト概要

サイトの公開目的を簡潔に記載する。
- 記事概要

各記事の概要と、記事詳細へのリンクを配置する。
- マップ

鎌倉の全体の地図を配置する。
- 購読

このサイトのメールマガジンに登録するためのフォーム。
- SNS

「X」にて歩いた記念に#タグで投稿するように呼び掛けるコンテンツ。
- ルート概要。

どこからどこまでとなるか概要を示す。
- 所要時間

徒歩でかかる時間を記す。
- スポット紹介

各スポットの詳細写真と解説。
- マップ

Google マップで各スポットの住所を示す。

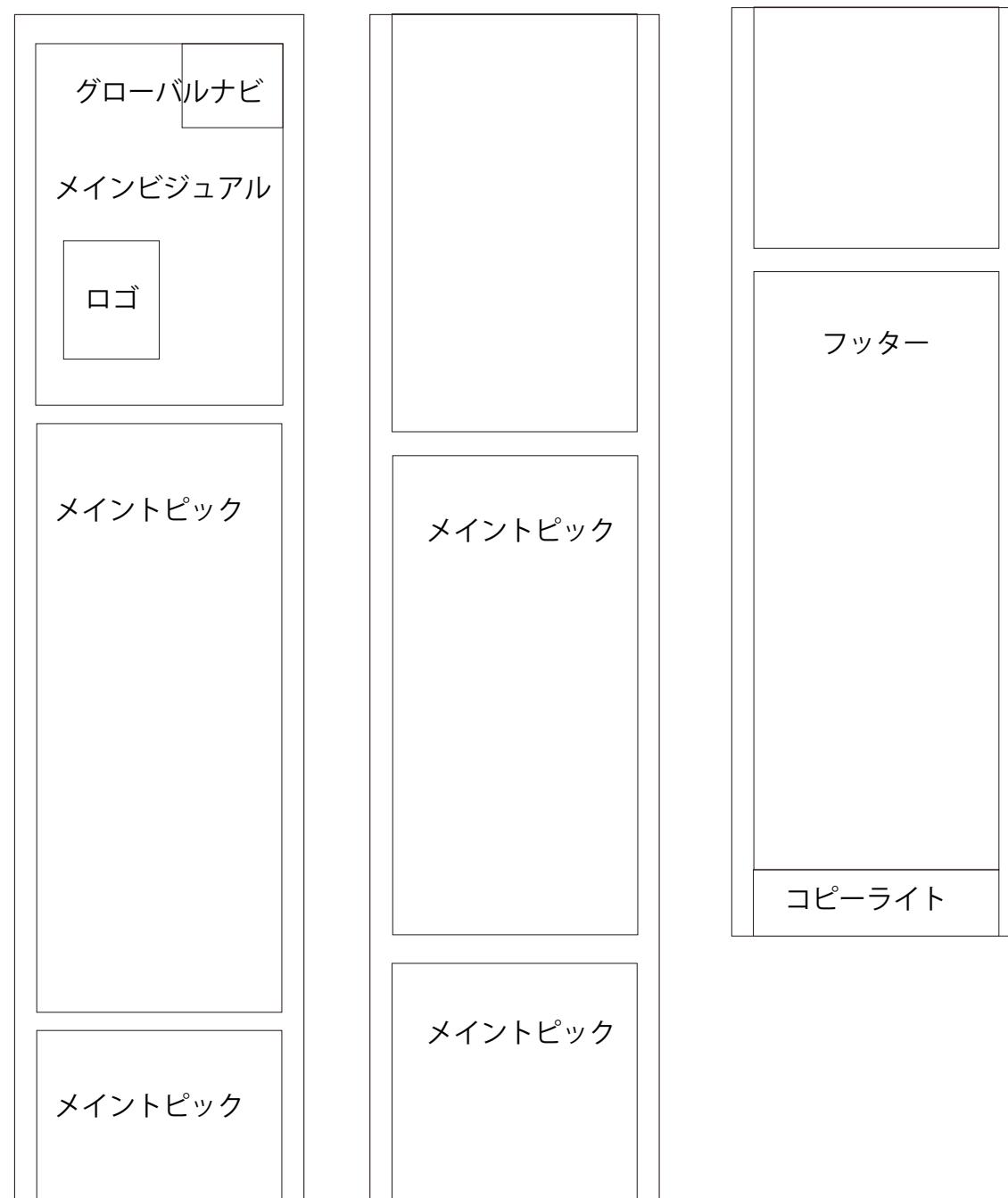
ワイヤーフレーム：PC メインページ



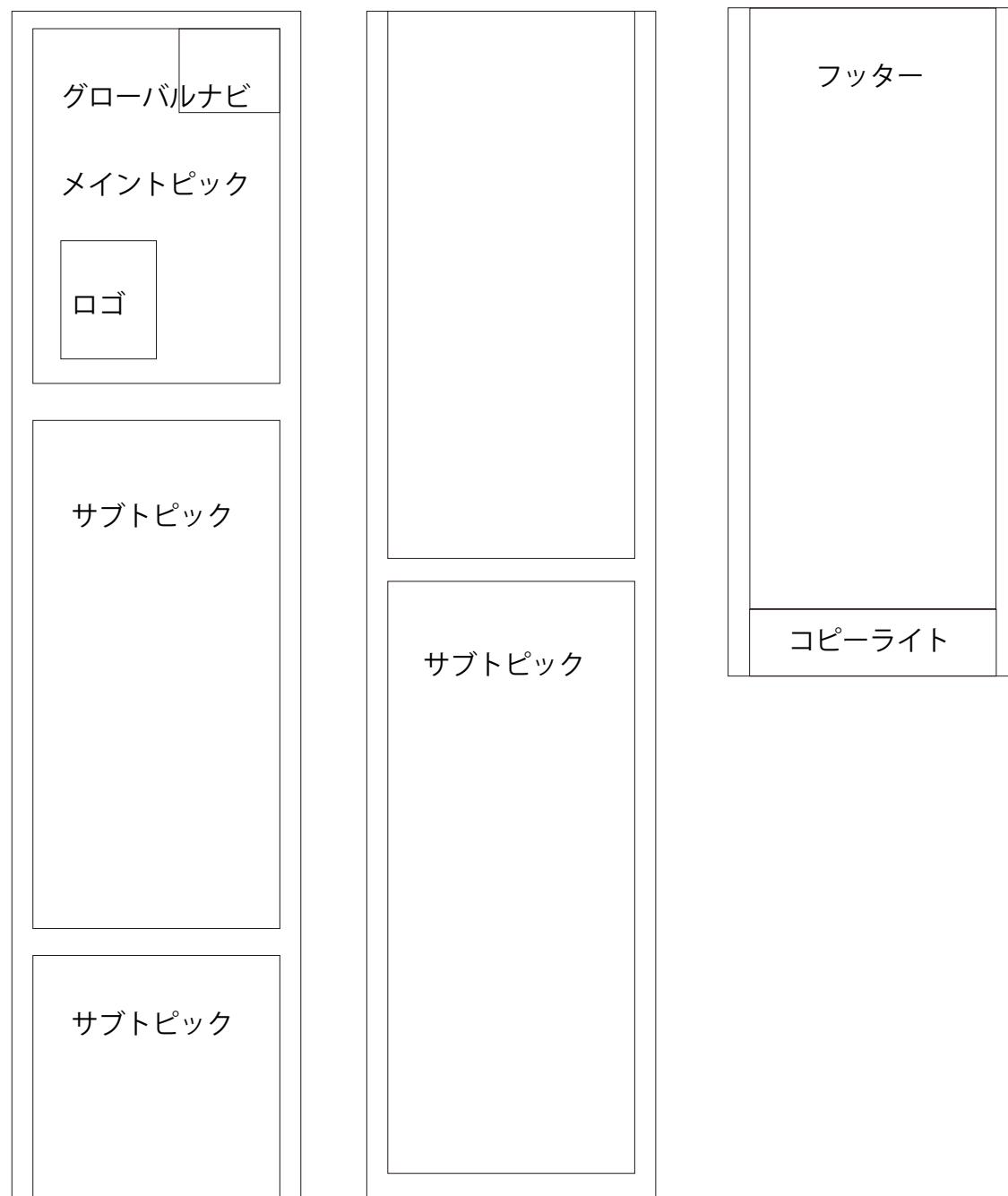
ワイヤーフレーム：PC サブページ



ワイヤーフレーム：SP メインページ



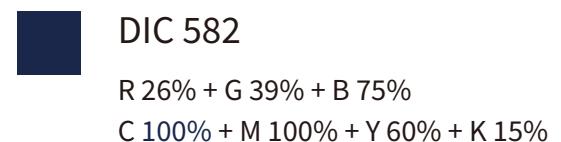
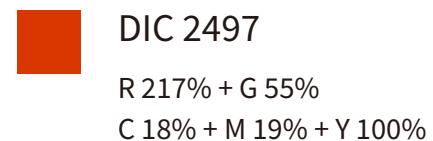
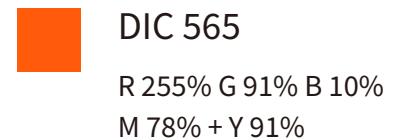
ワイヤーフレーム：SP サブページ



モノクロ



カラー



カラー設計

ベースカラー



DIC 582

R 26% + G 39% + B 75%

C 100% + M 100% + Y 60% + K 15%

サブカラー



DIC 621

R 185% + G 201% + B 201%

C 32% + M 15% + Y 20%

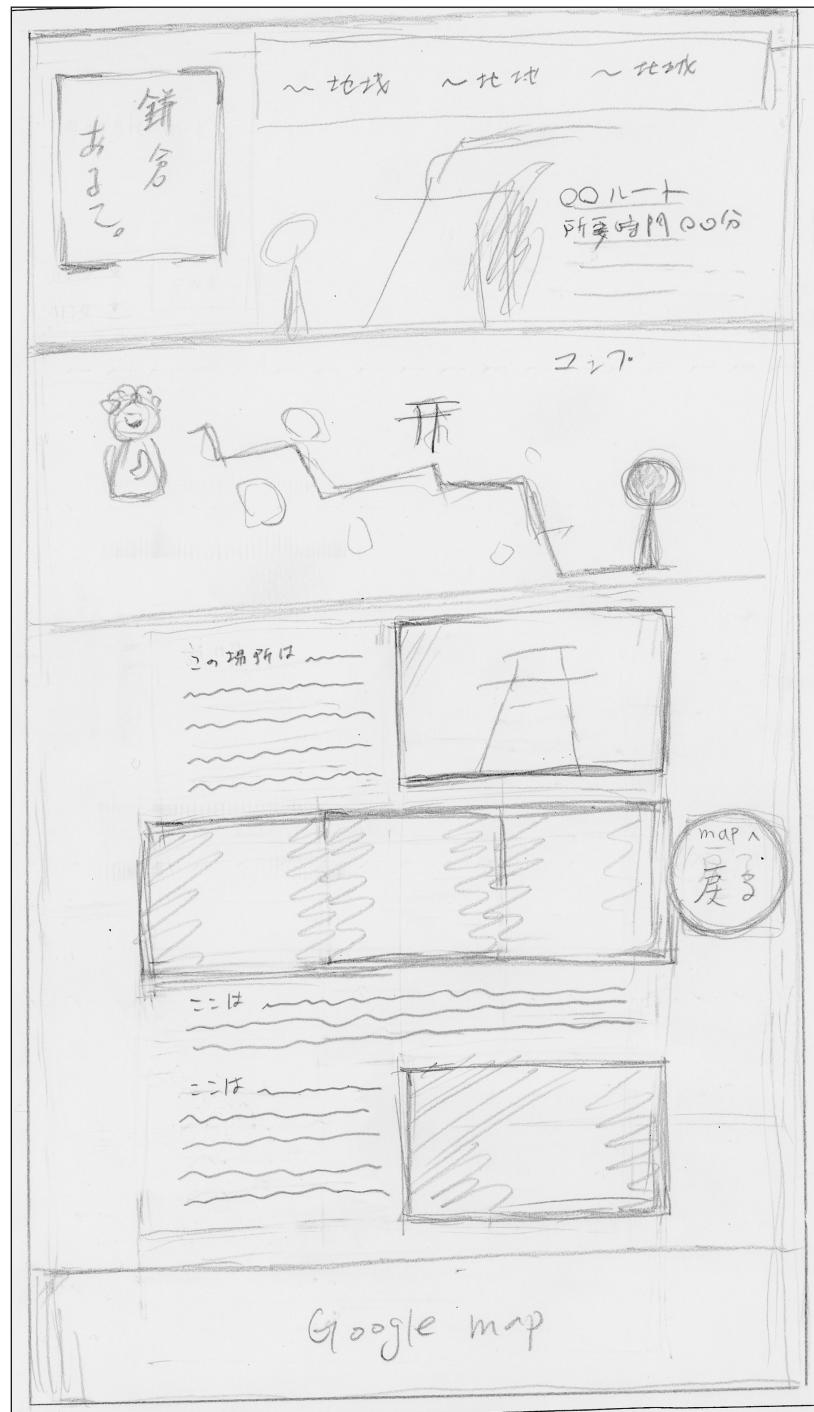
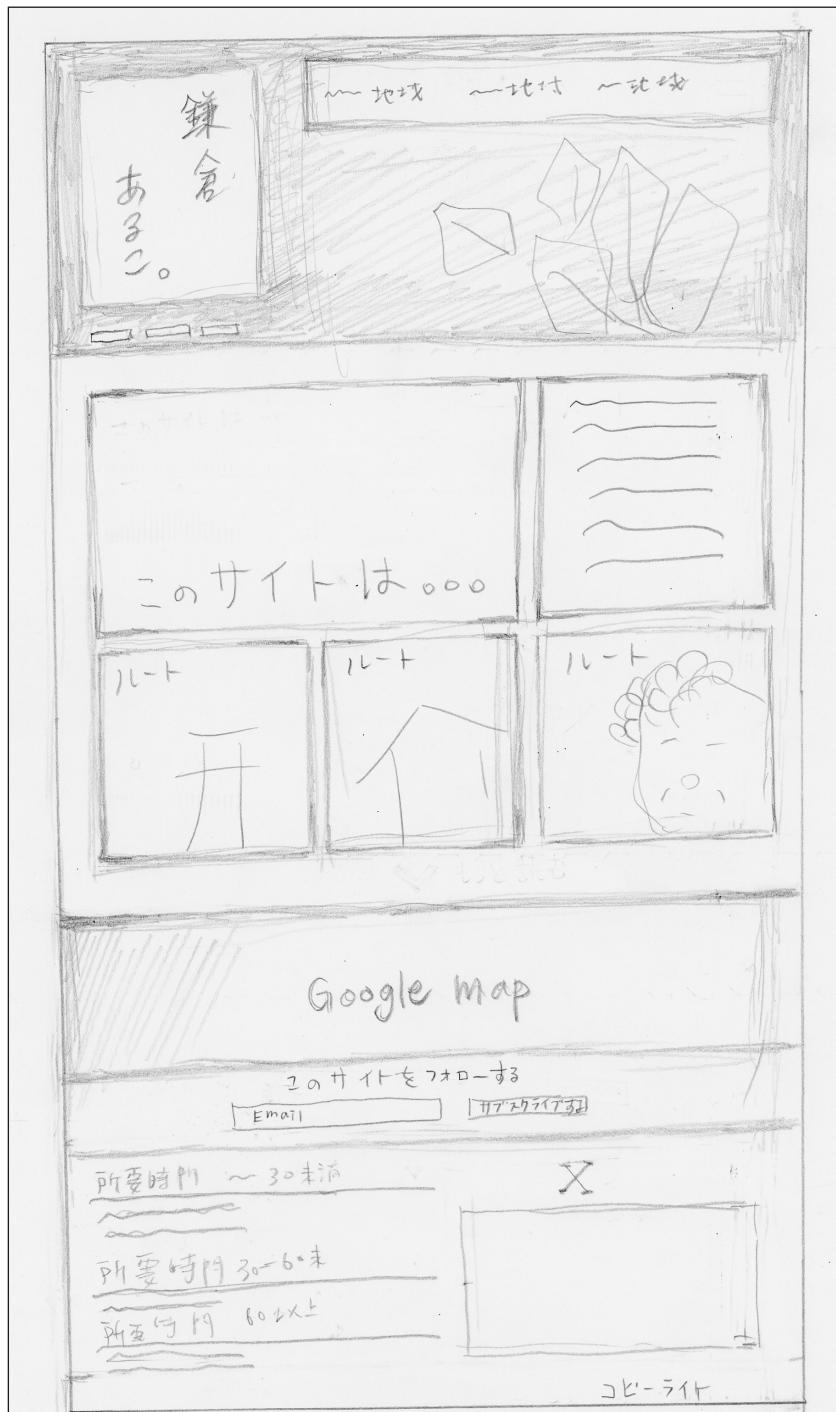


DIC 2351

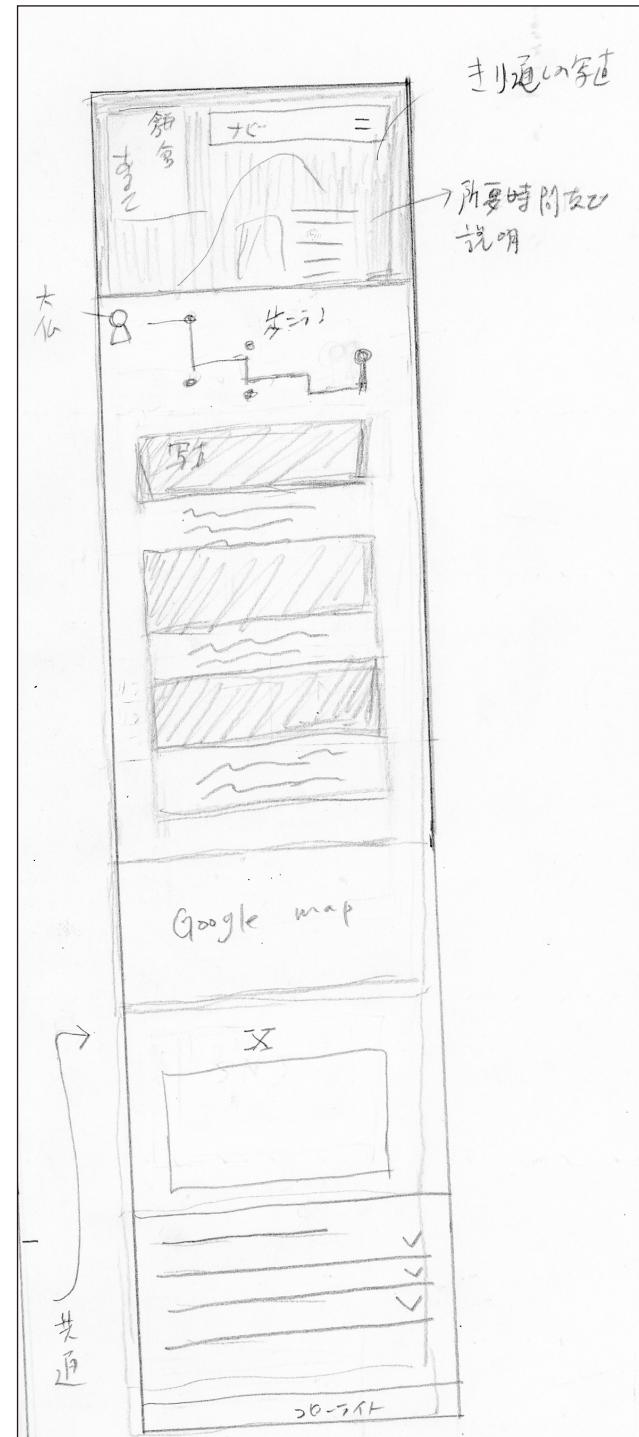
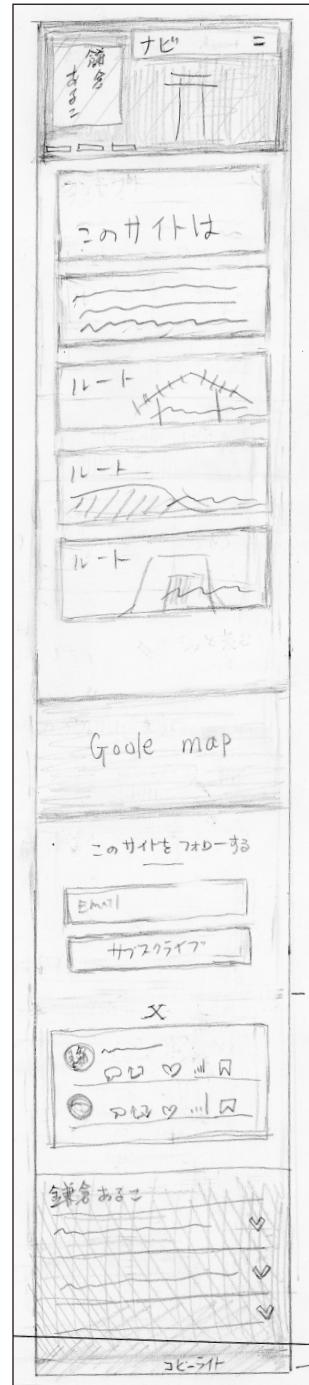
R 75% G 98% B 81%

C 75% + M 55% + Y 70% + K 15%

デザインラフ PC



デザインラフ SP



デザイン案

index.html

歴史と自然に触れる
鎌倉歩く旅へ

鎌倉探検旅行

「鎌倉あるこ」では、歴史と自然が融合する
鎌倉の魅力を発見するための旅です。鎌倉は古き良き
歴史と美しい海や山など、多忙な現代人が
ぎりぎり遊ぶべき場所です。丹波や海岸など、
鎌倉文化が息づく場所で鎌倉の魅力を発見してい
てください。お土産として大切な鎌倉の名前を贈る
などのお利便がお手軽であるのが特徴です。

鎌倉幕府開祖・源頼朝と
その一門、栄光と衰退

さらに表示する

大仏坂切通

鎌倉の中心部と長谷・材木町方面を結ぶ交通路として
利用され、鎌倉時代重要な役割を果たしていました。

朝夷奈切通

鎌倉市と横須賀市の境に位置する、1233年(寛元元年)
開かれたとされ、名前の由来は、朝夷奈二郎義秀
にちなんで。

亀ヶ谷坂

鎌倉市を中心とした鎌倉市内を結ぶ主要な道。鎌倉時代
に開かれ、特に鎌倉のための通じて機能していました。

鎌倉あるこを読む ルート 評議 ショップ

歴史と自然に触れる鎌倉歩く旅へ

鎌倉探検旅行

「鎌倉あるこ」では、歴史と自然が融合する鎌倉の魅力を存分に楽しむことができます。古都
ならではの今枝通り、豊かな海に囲まれた鎌倉港、美しい海岸など、多忙な現代人が
ぎりぎり遊ぶべき場所です。丹波や海岸など、鎌倉文化が息づく場所で鎌倉の魅力を発見してい
てください。お土産として大切な鎌倉の名前を贈る
などのお利便がお手軽であるのが特徴です。

鎌倉幕府開祖・源頼朝と
その一門、栄光と衰退

さらに表示する

大仏坂切通 朝夷奈切通 亀ヶ谷坂

鎌倉の中心部と長谷・材木町方面を結ぶ交通路として
利用され、鎌倉時代重要な役割を果たしていました。

鎌倉市と横須賀市の境に位置する、1233年(寛元元年)
開かれたとされ、名前の由来は、朝夷奈二郎義秀
にちなんで。

鎌倉市を中心とした鎌倉市内を結ぶ主要な道。鎌倉時代
に開かれ、特に鎌倉のための通じて機能していました。

さらに探索する

Ohuna ShonanMachiya Kitakamakura Nishikamakura Koshigoe Yuiyahama Kamakura

このサイトをフォローする

